

近年の梅雨入りと梅雨明け

	梅雨入り	梅雨明け
平年	6月07日	7月19日
2025年	5月22日	6月28日
2024年	6月21日	7月18日
2023年	6月08日	7月22日
2022年	6月06日	7月23日
2021年	6月14日	7月16日
2020年	6月11日	8月01日
2019年	6月07日	7月24日
2018年	6月06日	6月29日

今年の梅雨（速報）
 関東甲信地方の梅雨入りと梅雨明けはほぼ平年並みでしたが、早かった昨年に比べると16日以上遅くなりました。梅雨の時期の確定値は秋に発表されます。
 梅雨入り 6月7日
 平年と同じ、昨年より16日遅い
 梅雨明け 7月20日
 平年より1日遅い 昨年より22日遅い

ある町の天気相談所

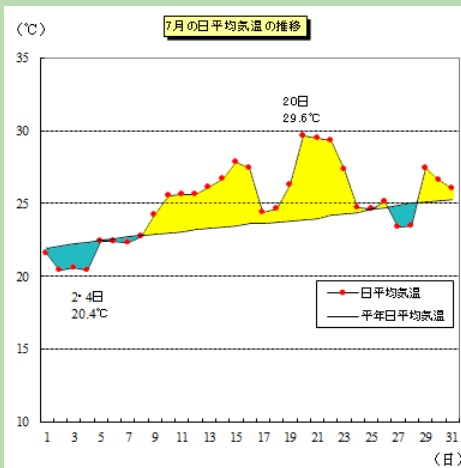
Vol.104 2026.08.07

令和8年8月号



7月の気候

7月は、梅雨前線の影響が大きくなりました。降水量は平年より少なくなりましたが、下旬は東北地方に停滞する前線の影響で湿った空気が入り、毎日雨を観測しました。月平均気温は25度と平年より高い気温となりました。月合計降水量は100・5ミリと平年の64パーセントと少なくなりました。晴れの日も少なく、日照時間は116・8時間と平年の86パーセントと少なくなりました。



一ヶ月予報（気象庁発表）

暖かい空気に覆われやすく、平年と同様に晴れの日が多くなる見込みです。平均気温は「平年並みから高い」、降水量は「ほぼ平年並み」、日照時間は、「ほぼ平年並み」となる見込みです。

熱中症に御注意を

人には体温を平熱に保つ仕組みがありますが、この機能が通常通り働かない場合、体調不良を起こします。これが熱中症です。体温を平熱に保つために汗をかきますが、その影響で体内の水分や塩分が減少し、血液の流れが滞るなどして、体温が上昇し、臓器が高温にさらされてしまい発症します。症状としては、体温が高い、皮膚が熱い、ズキンズキンとする頭痛、めまい、吐き気、意識の障害等があります。

「熱中症になるのは〇℃以上」とはいえませんが、それは、身体が暑さに慣れる前と慣れた後では身体への影響が変わってくるからです。また、寝不足などであったりすると、熱中症にならなかつた前日と全く同じ気象条件であっても、熱中症にかかってしまうことがあるなど、その時の体調によっても変わってきます。ただし、熱中症にかかりやすい気象条件というのはあるのです。そのような時は特に注意をしましょう。

熱中症にかかりやすい気象条件
 気温が高い
 前日との気温の差が大きい
 湿度が高い
 日差しが強い

熱中症の危険性を表す指標として、暑さ指数（WBGT）があり、熱中症警戒アラートの発表にも活用されています。

天気用語の基礎知識

レベル4土砂災害危険警戒報

2026年5月運用開始した新しい防災気象情報で新たに発表されるようになった情報。従前は「大雨」の中に含まれていた土砂災害について新たな警戒報とした。土砂災害には、警戒と特別警戒の間に位置づけられていた「土砂災害警戒情報」があったが、これを、レベル4土砂災害危険警戒報として位置づけた。このことで、レベル2土砂災害注意報から、レベル5土砂災害特別警戒報まで、「土壌雨量指数」と「降水量」の基準により発表されるように統一が図られた。

・・・神峰の山から・・・

ここ数ヶ月、外部からやってくる書類の確認の作業も行っています。数としては、週に数千枚の紙を確認しているのですが、確認していると身体がかゆくなってしまうという症状がでてしまいます。

紙に虫か何かいるのか、紙の成分、ボールペンや印刷のインクなどの影響か、紙をめくる際のほこりなのか、はたまた、確認する作業に対するアレルギー反応なのか、いろいろ考えてはみましたが、原因はわからないまま確認作業のほうは行っています。

作業自体は慣れてきましたが、かゆくなるのは慣れません。